

■がん患者さんの就労相談関係者研修会

●目的 がん患者の仕事と治療の両立は、がん対策の重要な柱の1つになっている。そこで、就労相談の窓口担当者や企業の人事・健康相談担当者等が、がん医療の基礎知識等を学ぶことで、関係機関と連携を図りながら適切な就労相談が実施できることを目的とする。

●対象者 就労相談窓口担当者、衛生管理者、産業保健スタッフ等

●内 容

日時・場所	内 容 ・ 講 師	参加者
平成27年12月16日(水) 13:30~16:00 奈良県中小企業会館 中会議室	講義1「がん医療の現状や治療等について」 講師 奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座教授 長谷川 正俊 氏 講義2「がん相談支援センターの役割」 講師 近畿大学医学部奈良病院 がん相談支援センター 吉村 仁美 氏	37人

●概要 がん治療やがん医療の現状についてわかりやすく説明があり、また、がん相談支援センターについても役割と業務や相談内容を具体的な話であった。初めて聞く参加者も多かったと思われるが、新たな知識として取り入れられたのではないかと。今後は、事業所からの参加を促すため、周知方法の検討が必要である。

■がん患者就労支援研修会

●目的 がん患者が治療と仕事とを両立できる環境づくりを目指し、産業医の立場からがんを持つ従業員への支援を考えるきっかけづくりとして研修会を開催する。(奈良産業保健総合支援センターと共催実施)

●対象者 産業医

●内 容

日時・場所	内 容 ・ 講 師	参加者
平成28年2月17日(水) 14:00~16:15 奈良商工会議所 地下AB会議室	講義1「奈良県のがん対策就労支援の取組について」 奈良県医療政策部保健予防課 参事 戸毛 由樹子 講義2「最近のがん治療と就労の両立について」 講師 奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座教授 長谷川 正俊 氏	33人

●概要 がん治療の現状と最新の放射線治療についての講義では、参加者は熱心に受講されていた。受講後のアンケートより、従業員から「どの段階で復職するか」「仕事の継続や予後」「就労の可否判断について」等の相談を受けていることや「会社に復帰する際の業務内容についての対応」「主治医でないで情報不足」であるといった産業医としての生の声を聞くことができた。



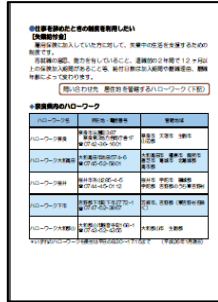
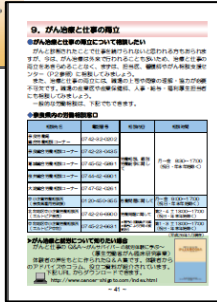
■県民への啓発

●冊子「がん患者さんのための療養ガイド」

●ポータルサイト「がんネットなら」



「がん治療と仕事の両立について」記載



■なら労働時報での啓発

＊県雇用労政課が年４回、県内 1,200 カ所の事業所向けに発行している情報誌

＜平成 28 年 1 月号にがん関連記事を掲載＞

(通巻348号) なら労働時報 (3)平成26年4月1日

がん患者の治療と就労の両立支援について

がんは、生涯のうち2人に1人が罹る身近な病気です。「がん」と聞くと、多くの人が治らない病気と連想しがちですが、治療技術の進歩により、がんは必ずしも「命にかかわる病気」ではなく、「長くつきあう慢性病」に変化してきています。

働く世代のがん患者数が年々増加しており、がん患者の治療と就労の両立支援は大きな課題となっています。こうした状況から、県では「第2期奈良県がん対策推進計画」（平成25年3月）を策定し、県民や事業者に対して、がんやがん患者に対する理解を深める取り組みを進めています。

奈良県が平成25年10月に、県内の医療機関に通院・入院しているがん患者を対象に実施した「ならのがんに関する患者意識調査」では、現在の日本は、がん治療を受けながら働き続けられる環境ではないと考えている人が半数以上を占め（図1）、雇用者のうち、実際に自分から希望退職された人が約2割を占めています（図2）。また、仕事を継続する上で、必要な対応・制度として、「短時間勤務への変更」、「年次有給休暇の時間単位取得」、「休養を考慮した配置転換」などを望む声が多く見られました。しかし、職場環境調査の結果（2ページ）では、「短時間勤務への変更」を実施している事業所は33.0%、「年次有給休暇の時間単位取得」は23.5%、「休養を考慮した配置転換」は42.0%となっており、がん患者が働きながら治療や療養ができる環境整備が望まれます。事業者向けに「がん就労者」支援マニュアルも作成されていますので、がん治療と就労の両立を目指す従業員への支援に向けて、ご活用ください。

◆企業（上司・同僚、人事労務、事業主）のための「がん就労者」支援マニュアル
http://www.cancer-work.jp/tool/index.html

(通巻350号) なら労働時報 (5)平成26年10月1日

がん患者の治療と就労の両立支援について

がんは、生涯のうち2人に1人が罹る身近な病気です。「がん」と聞くと、多くの人が「治らない病気」と連想しがちですが、治療技術の進歩により、がんは必ずしも「命にかかわる病気」ではなく、「長くつきあう慢性病」に変化してきています。

働く世代のがん患者数が年々増加しており、がん患者の治療と就労の両立支援は大きな課題となっています。こうした状況から、県では「第2期奈良県がん対策推進計画」（平成25年3月）を策定し、県民や事業者に対して、がんやがん患者に対する理解を深める取り組みを進めています。平成25年10月に実施した「ならのがんに関する患者意識調査」をもとに、平成26年度は、「がん患者への就労支援について考える」と題する「産業看護師等を対象とした研修会」と「産業医を対象とした研修会」の企画や、病院での相談支援体制の整備等に取り組んでいます。

◆ならのがんに関する患者意識調査
http://www.pref.nara.jp/34966.htm

また、事業者向けに「がん就労者」支援マニュアルも作成されていますので、がん治療と就労の両立を目指す従業員への支援に向けて、ご活用ください。

◆企業（上司・同僚、人事労務、事業主）のための「がん就労者」支援マニュアル
http://cancer-work.jp/tool/index.html

奈良県のがん対策、研修・イベント等についての問合せは、
奈良県医療政策部保健予防課 0742-27-8928

がんネットなら で検索!! http://www3.pref.nara.jp/gannet/